

うれしい!楽しい!がいっぱいつまった やりがいのある仕事



仕事について

介護士として最後までやりとげたい

兄弟が介護士の仕事に就いていて、話を聞いているうちに私もやってみたいと思うようになりました。祖父母と同居していて、小さいころからお年寄りに関わるが多かったこともあります。

現在は、入所者さんの生活のサポートや、要介護3以上の方たちが日常生活でできないことをサポートする仕事をしています。学校の教科書や授業で習ったものと、実際に働いて目で見て感じたものの違いに最初はとまどうこともありましたが、先輩たちの仕事を見て学びながら、少しずつ慣れていきました。それ以上にこの仕事には、**うれしいこと、楽しいこと、やりがいがたくさんつまっています。**初対面で距離があった人が本当の笑顔を見せてくれたり、自分を頼りにしてくれるときはすごくうれしい。私よりも年代が上の人たちから昔話を聞いたり、今と昔の時代の違いを共有しながらいろいろな話をするのもすごく楽しいです。介護士は5年でケアマネージャーという資格が取れますが、私は**ずっと介護士として現場で働きたい**と思います。



入所者さんたちとランチタイム

オホーツクへの想い

親しみがあって、居心地がいい場所

訓子府(くねっぶ)は親しみのある場所です。とても暮らしやすく居心地がいい。都会へのあこがれもありますが、小さいころから住んでいる町で顔見知り的人也多く、**知っている人たちを支えられるのは仕事の原動力**になります。すぐに実家に帰れるのもいいですね。仕事で辛いことがあったとき、実家に帰って家族がいてくれるとホッとしたり、気持ちのリセットができます。



お祭りで仲間と記念写真



施設みんなで流しそうめん

地域との関わり

職種が違う仲間たちとの交流

訓子府町青年団体連絡協議会に所属し、町のイベントのお手伝いなどをしていました。文化大会の**全国大会で特別賞ももらったことが一番の思い出。**いろいろな職種の人たちがいるので、全員が集まることは難しかったですが、みんな一丸となつてがんばった結果、賞を取れたのはうれしかったです。高校時代の文化祭みたいで、**すごく楽しかったですね。**

メッセージ

地元で働くのは、心強いし楽しい

初めて働く時、最初は心細くプレッシャーがかかるもの。知らない町では、みなさん「はじめまして」の人ばかりですが、地元だと知り合いが多い。一人でも知り合いがいるとすごく心強いし、楽しく仕事ができます。多くの方が、一度は都会にあこがれますが、都会に行って勉強して「地元がいいな」と思ったら、ぜひ帰ってきてほしいです。また、福祉の仕事はきついというイメージを持たれがちですが、いろいろな人たちと出会える楽しい仕事。ぜひ考えてみてください。



はまだ あい
濱田 安衣さん

〈プロフィール〉

● 出身 / 訓子府町 ● 勤続年数 / 11年 ● 所属・役職 / 介護福祉士 ● モットー / 「相手の“心”に近づけるようにする」

〈勤務会社〉

くねっぶ 静寿園 〒099-1402 訓子府町穂波69番地57

TEL: 0157-47-4551 <http://www.kunneppu-fukushikai.or.jp/index.html>

